設共同企業体である場合においては、その代表者。）の本店所在地（日本国内に本店がない場合においては、日本国内の主たる営業所の所在地。以下同じ。）の区分に応じ、別記に定める提出場所において、随時受け付ける。また、当該者が申請書及び技術資料を提出したときに限り、四国地方整備局総務部契約課（〒760―8554 香川県高松市サンポート３―33　電話087―851―8061）においても当該一般競争参加資格の認定に係る申請を受け付ける。

⑭　詳細は入札説明書による。

6　Summary

⑴　Official in charge of disbursement of the procuring entity : Hideki Hirai Director General of Shikoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

⑵　Classification of the services to be procured : 41

⑶　Subject matter of the contract : A Construction work of the superstructure of the Okinosuviaduct (P2―P6) B Construction work of the superstructure of the Okinosuviaduct (P18―P1) C Construction work of the superstructure of the Tsudaviaduct (P4―P3)

⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 5 : 00 P.M. 5 July 2018

⑸　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system : 2 : 00 P.M. 30 August 2018(tenders bring with 2 : 00 P.M. 30 August 2018 or tenders submitted by mail 2 : 00 P.M. 30 August 2018)

⑹　Contact point for tender documentation : Tomohito Mito, Contract Division, Shikoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism 3―33 Sunport Takamatsu-City, Kagawa-Prefecture 760―8554, TEL 087―851―8061 ex, 2526

招　　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成30年６月４日

国立大学法人九州工業大学学長　尾家　祐二

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　40

○第１号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量　全学セキュア・ネットワーク基盤システム　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　平成31年度９月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　次世代ファイアーウォールサブシステム

次世代ファイアーウォールサブシステムは、本学の学外接続口に設置し、外部よりの不正アクセスの防御、学内からの不正トラヒックの防止、学内の脆弱性を持つホストの検出などを行う装置である。次世代ファイアーウォール装置ＡおよびＢは異なるメーカである必要がある。

今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

①　次世代ファイアーウォール装置Ａ

(a)　仮想ドメイン機能を有すること。

(b)　クラウドもしくはオンプレでサンドボックス機能を有すること。

(c)　10Gbase-Tインタフェースを２ポート以上有すること。

(d)　脅威防御スループット８Gbps以上を有すること。

②　次世代ファイアーウォール装置Ｂ

(a)　仮想ドメイン機能を有すること。

(b)　10Gbase-SRインタフェースを２ポート以上有すること。

(c)　次世代ＦＷスループット５Gbps以上を有すること。

B　ＩＰアドレス管理サブシステム

ＩＰアドレス管理サブシステムは、工学部・情報工学部・生命体工学研究科・事務組織・教育研究支援施設を含む、既存のシステムにおけるＩＰアドレスの管理、ＤＮＳキャッシングサーバ、ＤＨＣＰサーバの機能を提供するものである。

今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

①　ＩＰアドレス管理装置

(a)　ＤＮＳサーバのパフォーマンスとして、最大22,500ＱＰＳの性能を有すること。

(b)　払い出せるＩＰアドレス数、設定できるスコープ数に制限が無いこと。

(c)　ＤＨＣＰサーバのパフォーマンスとして、最大150ＬＰＳの性能を有すること。

C　無線ＬＡＮサブシステム

無線ＬＡＮサブシステムは全学における無線ＬＡＮによる情報コンセントを用いたインターネット接続サービスを提供する。既存のシステムを相互接続し、性能を最大限に発揮することが出来る高速ネットワークインフラを提供するものである。

今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

①　無線ＬＡＮアクセスポイント

(a)　IEEE802.11ａ／ｂ／ｇ／ｎ／ａｃ／ａｘに準拠していること。

(b)　不正な無線ＬＡＮ基地局を検知するためのセンサー機能を有すること。

(c)　IEEE802.3atに基づいたPoE＋給電による電力供給で動作すること。

(d)　IEEE802.3bzに基づいたNBase-T機能を有すること。

②　フロアスイッチ

(a)　IEEE802.3bzに基づいたNBase-T機能を有すること。

(b)　10 GBase-LRM もしくは 10 Gbase-SRを１ポート以上有すること。

(c)　IEEE802.3afおよびIEEE802.3atに準拠した給電機能を有すること。

(d)　PoE給電可能なポートとして24ポート以上有すること。

D　ネットワークフォレンジックサブシステム

ネットワークフォレンジックサブシステムは本学の学外接続口に設置し、次世代ファイアーウォールサブシステムを通過したトラヒック全てをストレージへ格納するためのものである。

今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

①　ネットワーク・フォレンジックシステム

(a)　物理容量８ＴＢ以上のＳＡＳドライブで回転数7200rpm以上の機能を有するホットプラグ対応のハードディスクドライブを60基以上有する外部ストレージを提供すること。

(b)　CPUcoreとして８個以上提供すること。

(c)　主記憶としてメモリは64ＧＢ以上提供すること。

(d)　10Gbase-Tインタフェースを２個以上有すること。

(e)　遠隔管理機能として、サーバ機能停止時にもアクセス可能な遠隔管理機能を有すること。

E　ネットワーク異常検知サブシステム

ネットワーク異常検知サブシステムは本学の学外接続口に設置し、外部よりの不正アクセスの検知、学内からの不正トラヒックの検知、学内のウィルス感染端末の検出などを行う装置である。

今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

①　異常端末検知システム

(a)　マルウェアのＣ＆Ｃ通信を検知する機能を有すること。

(b)　10Gbase-SRインタフェースを１個以上有すること。

(c)　異常検知スループット４Gbps以上を有すること。

F　仮想基盤サブシステム

仮想基盤サブシステムは大学運営に必要なサービスを提供するためのインフラとして仮想基盤の提供を行う装置である。

今回の調査では、以下のような機能を持つ装置についての情報を広く求める。

①　仮想基盤システム

(a)　物理容量２ＴＢ以上のＳＡＳドライブで回転数7200rpm以上の機能を有するホットプラグ対応のハードディスクドライブを８基以上有する外部ストレージを提供すること。

(b)　CPUcoreとして24個以上提供すること。

(c)　主記憶としてメモリは384ＧＢ以上提供すること。

(d)　10Gbase-Tインタフェースを２個以上有すること。

(e)　遠隔管理機能として、サーバ機能停止時にもアクセス可能な遠隔管理機能を有すること。

(f)　ゲストＯＳをバックアップするソフトウェアを提供すること。